

令和8年7月26日 楽習会
参加されたみなさまからの感想

- ・江戸時代の写本と版本で求められる役割の違いにより、内容も変わっていく部分が興味深かった。
- ・初めてお聞きすることばかりでした。おもしろいお話でした。これからも学んでいきたいと思っています。
- ・江戸時代には版本が主流だと思っていたが、写本と役割分担があり双方とも活かされていることが分かり面白かった。
- ・「しぐれ」の語や時代背景から、写本と版本の違いについてよく知ることができました。写本と版本で内容が少し違うことがあるということが面白いなと感じました。
- ・江戸時代の本については、刊本が取り上げられることが多い印象がありますが、写本も異なる役割をもって作られていたことが分かり、とても勉強になりました。
- ・初めてみるものが多くて面白かった。
- ・とても面白かったです。十返舎一九にも、居初つなさんにもとても興味を抱きました。ありがとうございました。
- ・お伽草子から実例を挙げただきながら写本と版本の性質についてご説明いただいたことで、物語の内容に寄り添いながら、楽しんで理解を深めることができました。『時雨物語』の原文にも触れてみたいと思います。